

2026年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年7月15日

上場会社名 株式会社TWOStone&Sons 上場取引所 東
 コード番号 7352 URL <https://twostone-s.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 河端 保志
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 加藤 真 (TEL) 03(6416)0057
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年8月期第3四半期の連結業績(2025年9月1日~2026年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年8月期第3四半期	15,879	18.5	602	△32.3	653	△25.5	328	△42.7
2025年8月期第3四半期	13,402	32.9	889	500.2	877	496.6	572	—

(注) 包括利益 2026年8月期第3四半期 313百万円(△47.2%) 2025年8月期第3四半期 594百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年8月期第3四半期	7.48	6.87
2025年8月期第3四半期	13.20	11.97

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年8月期第3四半期	10,722	3,851	34.8
2025年8月期	9,947	3,467	33.7

(参考) 自己資本 2026年8月期第3四半期 3,726百万円 2025年8月期 3,351百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年8月期	—	0.00	—	0.50	0.50
2026年8月期	—	0.00	—		
2026年8月期(予想)				1.00	1.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年8月期の連結業績予想(2025年9月1日~2026年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,182	33.8	1,324	61.6	1,321	63.7	660	33.6	15.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 3 社 (社名) 株式会社ストラテジー
キャンパス、株式会社FAM、
株 式 会 社 TWOSTONE、除外 1 社 (社名) 株式会社ストラテジー
Financial Technologies キャンパス

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年 8 月期 3 Q	44, 476, 880株	2025年 8 月期	43, 493, 360株
② 期末自己株式数	2026年 8 月期 3 Q	627株	2025年 8 月期	627株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年 8 月期 3 Q	43, 913, 943株	2025年 8 月期 3 Q	43, 400, 938株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、2026年 7 月中旬にライブ配信による決算説明会を開催する予定です。この説明会で使用する決算補足説明資料につきましては、開催後当社ウェブサイト (<https://twostone-s.com/>) に掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第 3 四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第 3 四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計上の見積りの変更に関する注記)	8
(セグメント情報等に関する注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第 3 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に内需の底堅さがみられ、賃上げの動きが中小企業も含めて広がりを見せる中、実質賃金についても改善の動きが徐々に明確になってまいりました。一方で、消費者物価は基調的に高止まりする局面が続いており、食料品やエネルギー関連を中心とした生活必需品価格の上昇に対する家計の負担感は根強く、消費者の節約志向・生活防衛意識は依然として色濃く残っております。個人消費の本格的な回復には、実質賃金の改善が持続的なものとなるかを見極める必要がある状況が続いております。

また、海外経済を巡っては、主要国における通商政策の変化及び地政学的リスクの高まりにより国際貿易をめぐる不確実性が増大しており、為替変動や資源・エネルギー価格の上昇を通じた国内景気への波及が懸念されております。加えて、国内においても金融政策の正常化に向けた動きが進む中、内外の金融資本市場の変動等も相まって、企業の設備投資マインドや家計の消費マインドの両面において、国内景気の先行きに対する不透明感は強い状況が続いております。こうした環境下、企業においては、コスト増加への対応や事業ポートフォリオの見直しなど、経営環境の変化に応じた機動的な対応が一層求められております。

一方で、国内では生産年齢人口の減少を背景とした構造的な人手不足が一段と顕在化しており、なかでも IT 人材の確保は業種を問わず企業活動における喫緊の課題となっております。生成 AI や AI エージェントをはじめとする新技術の実用化が急速に進展する中、サイバーセキュリティ需要の高まりも相まって、企業が求める IT スキルは単なる増員ニーズにとどまらず、要件の高度化・専門化が一段と進んでおります。その結果、新規採用のみならず、リスクリングを含む既存人材の育成・再配置の重要性が高まっており、専門性の高い人材を中心に、国内の労働市場においては需給の逼迫した状態が続いております。

このような事業環境のもと、当社の事業領域と関連の高い IT 市場では、デジタルトランスフォーメーション (DX) 投資に加え、生成 AI を活用した業務効率化や新規事業開発などの取り組みが業種・業態を問わず拡大しております。デジタルシフトを推進する企業において人材需給の逼迫が続く中、正社員・フリーランスの双方の形態で IT エンジニアを確保しようとする企業の採用意欲は依然として強く、企業と IT エンジニアを結びつける当社のエンジニアプラットフォーム機能の重要性は、従来にも増して高まっているものと認識しております。

このような環境下、当社は企業のデジタル化を推進すべく、企業に対する IT エンジニアリソースの提供を継続するとともに、IT エンジニアの独立支援を行う Midworks 事業を中心としたエンジニアプラットフォームサービスの拡大に注力いたしました。当第 3 四半期連結累計期間においては前期に引き続き、Midworks 事業を中心とするエンジニア獲得及び顧客獲得に向けた広告投資に加え、グループ全体の正社員エンジニア、営業人材及びコンサル人材の採用に関する採用広告費等の投資を実施いたしました。

この結果、当第 3 四半期連結累計期間の業績は、売上高 15,879,187 千円（前年同期比 18.5% 増）、営業利益 602,410 千円（前年同期比 32.3% 減）、経常利益 653,464 千円（前年同期比 25.5% 減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は 328,391 千円（前年同期比 42.7% 減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

当社グループの報告セグメントは、株式会社 Branding Engineer を中心とした「エンジニアプラットフォームサービス」、株式会社 Digital Arrow Partners を中心とした「マーケティングプラットフォームサービス」、株式会社 M&A 承継機構、株式会社 enableX を中心とした「コンサル・アドバイザーサービス」の 3 区分としております。

① エンジニアプラットフォームサービス

エンジニアプラットフォームサービスは、株式会社 Branding Engineer によって運営される企業とフリーランスエンジニアをマッチングする Midworks 事業、システムの受託開発やエンジニア組織のコンサルティングを行っている FCS 事業、株式会社 Branding Career によって運営される IT エンジニアを中心とした専門領域特化型転職支援サービスである Stars Agent 事業、株式会社 Growth One によって運営される受託開発事業、TSR 株式会社、株式会社ジンアース、株式会社 Maple Systems、株式会社 Carecon、株式会社 FAM が行うエンジニアマッチングサービスで構成されております。

当第 3 四半期連結累計期間においては主に Midworks 事業において、前期に引き続き新規取引先の獲得に注力するとともに、稼働エンジニア数を増加させるための施策としてエンジニア獲得・顧客獲得のための広告投資のほか、正社員エンジニア、内勤の営業人材の採用に関する投資を積極的に行いました。

この結果、本報告セグメントの売上高は 13,082,901 千円（前年同期比 12.9% 増）、セグメント利益は 1,020,089 千

円（前年同期比6.2%増）となりました。

② マーケティングプラットフォームサービス

マーケティングプラットフォームサービスは、株式会社Digital Arrow Partnersによって運営されるWEBマーケティングサービスであるDigital Arrow Partners事業、クローズドASPサービスであるASP事業、フリーランスマーケターをマッチングするExpert Partners Marketing事業に加え、株式会社2Hundredによって運営されるBtoCプラットフォーム事業で構成されております。

当第3四半期連結累計期間においては、企業のマーケティング全般を担えるようサービスの拡充を図りました。

この結果、本報告セグメントの売上高は308,005千円（前年同期比10.7%減）、セグメント損失は11,840千円（前年同期はセグメント利益49,217千円）となりました。

③ コンサル・アドバイザーサービス

コンサル・アドバイザーサービスは、株式会社enableXが行う戦略コンサルティング事業、株式会社M&A承継機構によって運営されるM&Aアドバイザー事業を行っております。

当第3四半期連結累計期間においては、それぞれの領域において業界経験が豊富な人材を中心に採用を行い、事業拡大に取り組みました。

この結果、本報告セグメントの売上高は2,488,281千円（前年同期比68.7%増）、セグメント利益は395,993千円（前年同期比20.8%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、10,722,708千円となり、前連結会計年度末に比べ774,838千円増加いたしました。主な要因は、売掛金及び契約資産が164,141千円、商品及び製品が100,387千円、長期貸付金が270,000千円増加したことによるものであります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債は、6,871,699千円となり、前連結会計年度末に比べ391,760千円増加いたしました。主な要因は、短期借入金167,000千円、1年内返済予定の長期借入金が118,301千円、未払金が65,477千円増加したことによるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、3,851,009千円となり、前連結会計年度末に比べ383,077千円増加いたしました。主な要因は、利益剰余金が296,173千円増加したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年8月期の業績予想につきましては、2025年10月15日付けの「2025年8月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表しました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年 8 月 31 日)	当第 3 四半期連結会計期間 (2026年 5 月 31 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,557,240	4,553,279
売掛金及び契約資産	2,414,553	2,578,695
商品及び製品	16,534	116,921
その他	231,496	298,304
貸倒引当金	△3,094	△3,479
流動資産合計	7,216,730	7,543,721
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備（純額）	72,720	155,714
その他（純額）	10,193	52,043
有形固定資産合計	82,913	207,758
無形固定資産		
のれん	1,872,886	1,940,363
その他	397,739	413,543
無形固定資産合計	2,270,626	2,353,906
投資その他の資産		
投資有価証券	40,278	35,895
敷金及び保証金	198,232	209,384
繰延税金資産	127,369	91,889
長期貸付金	—	270,000
その他	37,103	37,867
貸倒引当金	△25,383	△27,714
投資その他の資産合計	377,599	617,321
固定資産合計	2,731,140	3,178,987
資産合計	9,947,870	10,722,708

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年 8 月 31 日)	当第 3 四半期連結会計期間 (2026年 5 月 31 日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,080,512	1,098,482
短期借入金	100,000	267,000
1 年内返済予定の長期借入金	1,069,069	1,187,370
未払金	842,901	908,379
未払法人税等	195,973	216,319
賞与引当金	37,656	90,130
その他	605,347	643,735
流動負債合計	3,931,461	4,411,417
固定負債		
長期借入金	2,468,212	2,414,205
その他	80,264	46,076
固定負債合計	2,548,476	2,460,281
負債合計	6,479,938	6,871,699
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,038,985	1,057,828
資本剰余金	1,068,884	1,131,278
利益剰余金	1,243,282	1,539,455
自己株式	△303	△303
株主資本合計	3,350,850	3,728,259
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	379	△1,913
その他の包括利益累計額合計	379	△1,913
新株予約権	10,428	16,038
非支配株主持分	106,272	108,624
純資産合計	3,467,931	3,851,009
負債純資産合計	9,947,870	10,722,708

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第 3 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 2024 年 9 月 1 日 至 2025 年 5 月 31 日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 2025 年 9 月 1 日 至 2026 年 5 月 31 日)
売上高	13,402,539	15,879,187
売上原価	9,296,678	10,284,909
売上総利益	4,105,860	5,594,278
販売費及び一般管理費	3,216,555	4,991,867
営業利益	889,305	602,410
営業外収益		
助成金収入	10,232	84,090
受取手数料	1,001	24
保険解約返戻金	—	91
受取補償金	5,507	6,228
受取利息	2,176	6,814
その他	2,366	5,910
営業外収益合計	21,283	103,159
営業外費用		
支払利息	18,234	35,461
支払手数料	10,882	—
その他	4,208	16,644
営業外費用合計	33,325	52,105
経常利益	877,263	653,464
特別利益		
事業譲渡益	10,900	—
投資有価証券売却益	—	1,149
特別利益合計	10,900	1,149
特別損失		
固定資産売却損	—	1,369
固定資産除却損	—	10,377
特別損失合計	—	11,746
税金等調整前四半期純利益	888,163	642,867
法人税、住民税及び事業税	322,979	347,096
法人税等調整額	△30,656	△20,151
法人税等合計	292,322	326,945
四半期純利益	595,841	315,921
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	23,061	△12,470
親会社株主に帰属する四半期純利益	572,779	328,391

四半期連結包括利益計算書
第 3 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 2024 年 9 月 1 日 至 2025 年 5 月 31 日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 2025 年 9 月 1 日 至 2026 年 5 月 31 日)
四半期純利益	595,841	315,921
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,726	△2,293
四半期包括利益	594,114	313,628
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	571,052	326,098
非支配株主に係る四半期包括利益	23,061	△12,470

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更に関する注記)

(耐用年数の変更)

当社が入居する建物は、渋谷駅周辺の再開発地区に含まれており、賃貸借期間終了時に退去することを想定していたため、従来、賃貸借期間に伴い耐用年数を 6 年として減価償却を行っていましたが、当第 3 四半期連結累計期間において、再開発の時期が変更になったことにより契約期間の延長を行ったため、耐用年数を 7 年に見直し、将来にわたり変更しております。

なお、この変更による、当第 3 四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

(セグメント情報等に関する注記)

【セグメント情報】

I 前第 3 四半期連結累計期間(自 2024 年 9 月 1 日 至 2025 年 5 月 31 日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1、2	合計
	エンジニア プラットフォーム サービス	マーケティング プラットフォーム サービス	コンサル・ アドバイザー サービス	計		
売上高 顧客との契約から 生じる収益						
外部顧客への売上高	11,583,357	343,928	1,475,253	13,402,539	—	13,402,539
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	7,801	7,171	1,754	16,727	△16,727	—
計	11,591,158	351,100	1,477,008	13,419,267	△16,727	13,402,539
セグメント利益	960,654	49,217	499,833	1,509,706	△615,981	893,724

(注) 1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2. セグメント利益の調整額△615,981千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	893,724
子会社株式の取得関連費用	△4,419
四半期連結損益計算書の営業利益	889,305

Ⅱ 当第 3 四半期連結累計期間(自 2025 年 9 月 1 日 至 2026 年 5 月 31 日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1、2	合計
	エンジニア プラットフォーム サービス	マーケティング プラットフォーム サービス	コンサル・ アドバイザー サービス	計		
売上高 顧客との契約から 生じる収益						
外部顧客への売上 高	13,082,901	308,005	2,488,281	15,879,187	—	15,879,187
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	14,711	15,606	25,194	55,512	△55,512	—
計	13,097,612	323,611	2,513,476	15,934,700	△55,512	15,879,187
セグメント利益又 はセグメント損失 (△)	1,020,089	△11,840	395,993	1,404,242	△780,247	623,995

(注) 1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△780,247千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	623,995
子会社株式の取得関連費用	△21,584
四半期連結損益計算書の営業利益	602,410

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第 3 四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第 3 四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 2024 年 9 月 1 日 至 2025 年 5 月 31 日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 2025 年 9 月 1 日 至 2026 年 5 月 31 日)
減価償却費	26,818 千円	46,859 千円
のれんの償却額	117,149 千円	315,523 千円